

ポータブル超音波流量計 PT878簡易取扱説明書



今回は配管(PVC)で流量を測定します。
正しく器具を取り付けるために、配管を綺麗に
拭いておきます。
また、配管の材質を調べておきます。



1.電源を入れます。



2 トランスデューサーボタン(F1)を押します。

2.1 トランスデューサータブでタイプをクランプオンに選択します。



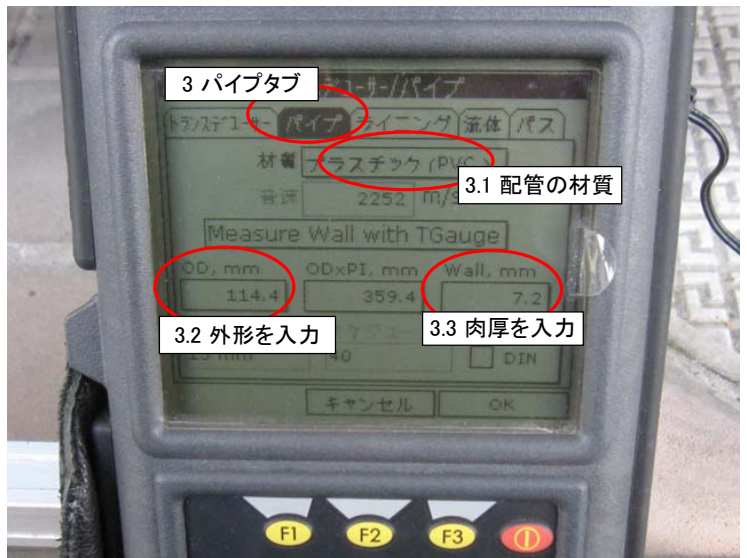
- 2.2 付属のトランスデューサー番号を選択します。(例では#402シエアー波)
- 2.3 ウェッジ温度(配管表面温度)を入力します。



3. パイプタブを選択します。

- 3.1 配管の材質を次の中から選択します。(今回はプラスチック(PVC)を選択)

配管材料の 카테고리	特定の材料
アルミニウム	圧延
真鍮	なし
銅	焼鈍または圧延
銅/ニッケル合金	70%Cu、30%Niまたは90%Cu、10%Ni
ガラス	パイレックス、フリント、クラウン
金	硬線
インコネル	なし
鉄	アームコ、圧延、鋳鉄、電解
モネル	なし
ニッケル	なし
プラスチック	ナイロン、ポリエステル、ポリプロピレン、PVC(CPVC)、アクリル
鋼	炭素鋼またはステンレス鋼
錫	圧延
チタン	なし
タングステン	焼鈍、カーバイド、硬線
亜鉛	圧延
その他	任意の材料



- 3.2 OD,mmは外形を入力します
- 3.3 Wall,mmは肉厚を入力します。

4. ライニングタブを選択します。



4.1ライニング材質(内側)を選択します。
今回は なし を選択します。

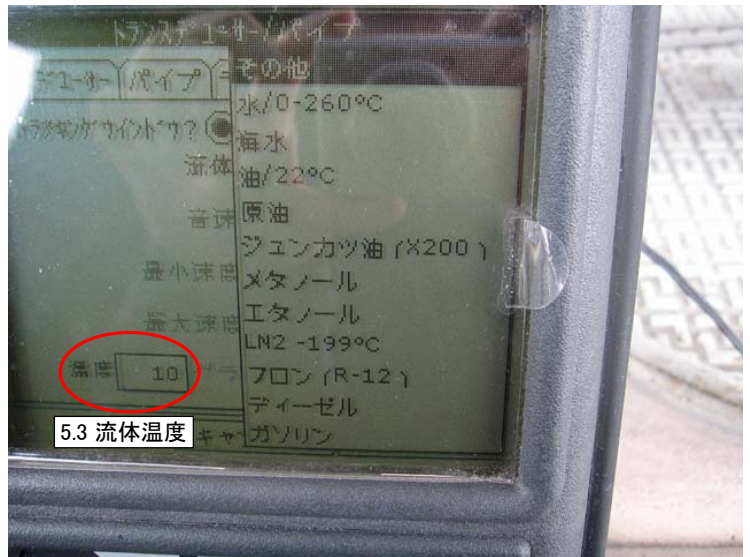
エポキシ・タール
パイレックス・ガラス
アスベスト・セメント
モルタル
ゴム
テフロン
その他



5. 流体タブを選択します。

5.1 トラッキングウインドウはNoを選択します。
5.2 流体を次の中から選択します。

水
海水
油/22°C
原油
潤滑油(X200)
メタノール
エタノール
LN2(-199°C)
フロン(R-12)
ディーゼル
ガソリン

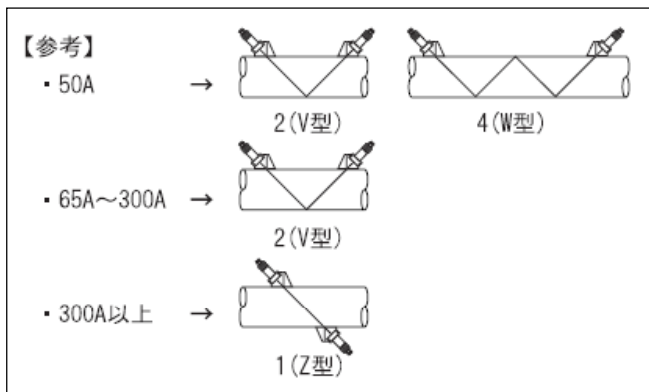


5.3 流体温度

5.3 流体温度を選択します。

6 パスタブを選択します。

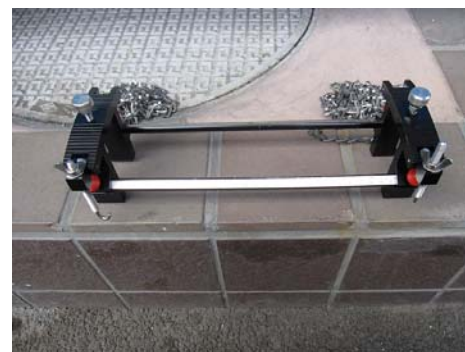
6.1 トラバース数を選択します。
今回は内径が100Aなので 2(V型)を選択します。
設置間距離は自動で算出されます。



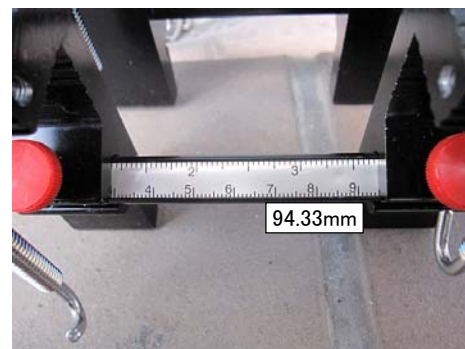
6.1 トラバース数を選択

6 パスタブ

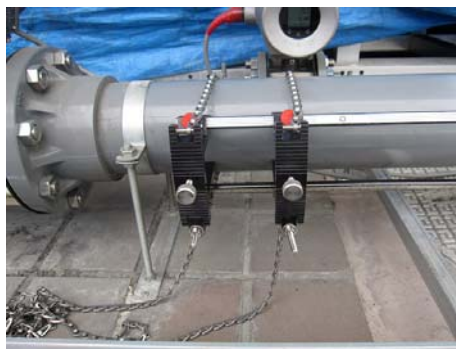
7. ユニバーサルフィクスチャー(治具)の取り付け



7.1 6で算出された設置間距離の長さに設定します。
今回は94.33mmに長さをあわせませす。



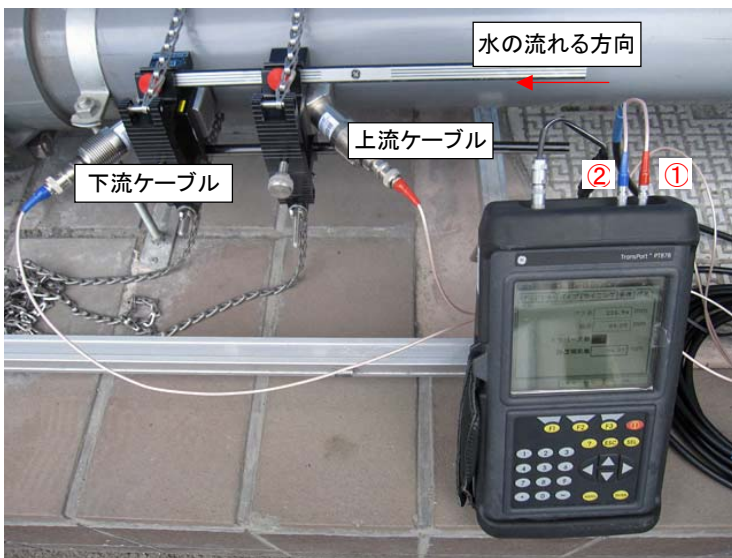
7.2 配管の側面にユニバーサルフィクスチャーを取り付けます。



7.3 トランスデューサーにカプラントを塗ります。



- 7.4 トランスデューサー接続ケーブルを取り付けます。
 一番右側のコネクタに上流のケーブル(赤色)を差し込み①
 左側のコネクタに下流のケーブル(青色)を差し込みます。②



- 7.5 F3ボタンを押すと警告画面が出てきますので、もう一度F3ボタン(OK)を押します。



流量が計測されました！

